

君國の爲めに一たび起たば、

父母なく妻子もない

明日をも知れぬ病床の父と生別

出征の勇士に鐵より固い銃後の守り

皇軍正義の旗一度ひるがへれば三千年の大和魂は火となつて發する

君國のため不義を討つところの勇士に鐵より固い銃後の守り

ひるます父母なく妻子もない歎歌のわくところの勇士の家を歎かしむる隣人はない忠勇無双の勇士に鐵より固い銃後の守り

かくて日本は無敵である見よ全日本いやう花と咲いた軍國美談を

たゞならぬ氣配でそれとさ

々身に振る様ながれは勘

など考へる様ながれは勘

三唱、その儘崩れるやうに

倒れたりきる昏睡状態に陥つた

當だぞ」と脇脇共に下る激

を取り寄せ病體を起して動

氏と生別の盃をかはし「女

隣の後、遙かに東方の方に

かの豫備少尉創木草弘氏

（三八）に召集令が下つた

氏は

福岡 县田川郡大任

村の出身、今狀が任地高崎

市に通達された時は折悪く

母堂のためさん（六五）は多

田羅病院であるかも知れぬ

危篤の病體であり、その上

昌子夫人（二九）も癌の月の

重身であった、しかし創木

氏は即座に軍服軍刀をそろ

へ昌子夫人にはつた

言體を大事にしてくれ、

お母さんを頼む」と雄々

く出發した見送りの佐藤香

川縣知事以下涙をながして

後事を案しないやう激励す

のであつた。

樺太 治警察署勤務

巡査會知縣海部郡カニエ

町出身の後藤茂君（廿九）は

召集令狀電報を受けたが、

昌子夫人（二九）も癌の月の

重身であった、しかし創木

氏は即座に軍服軍刀をそろ

へ昌子夫人にはつた

言體を大事にしてくれ、

お母さんを頼む」と雄々

く出發した見送りの佐藤香

川縣知事以下涙をながして

後事を案しないやう激励す

のであつた。

岐阜 市早田松原利

羽田（卅一）が應召にあたり

親うめさん（五九）は突然

意船で小樽に、たゞ札幌

車では指定の日まで、そこで

奉公袋に納めた虎の子百圓

をなげ出して空の應召を決

めにスビード

應召のレコードを作つた

岐阜 市早田松原利

羽田（卅一）が應召にあたり

親うめさん（五九）は突然

意船で小樽に、たゞ札幌

車では指定の日まで、そこで

奉公袋に納めた虎の子百圓

をなげ出して空の應召を決

めにスビード

應召のレコードを作つた

岐阜 市早田松原利

羽田（卅一）が應召にあたり

親うめさん（五九）は突然

意船で小樽に、たゞ札幌

車では指定の日まで、そこで

奉公袋に納めた虎の子百圓

をなげ出して空の應召を決

めにスビード

應召のレコードを作つた

岐阜 市早田松原利

羽田（卅一）が應召にあたり

親うめさん（五九）は突然

意船で小樽に、たゞ札幌

車では指定の日まで、そこで

奉公袋に納めた虎の子百圓

をなげ出して空の應召を決

めにスビード

應召のレコードを作つた

岐阜 市早田松原利

羽田（卅一）が應召にあたり

親うめさん（五九）は突然

意船で小樽に、たゞ札幌

車では指定の日まで、そこで

奉公袋に納めた虎の子百圓

をなげ出して空の應召を決

めにスビード

應召のレコードを作つた

岐阜 市早田松原利

羽田（卅一）が應召にあたり

親うめさん（五九）は突然

意船で小樽に、たゞ札幌

車では指定の日まで、そこで

奉公袋に納めた虎の子百圓

をなげ出して空の應召を決

めにスビード

應召のレコードを作つた

岐阜 市早田松原利

羽田（卅一）が應召にあたり

親うめさん（五九）は突然

意船で小樽に、たゞ札幌

車では指定の日まで、そこで

奉公袋に納めた虎の子百圓

をなげ出して空の應召を決

めにスビード

應召のレコードを作つた

岐阜 市早田松原利

羽田（卅一）が應召にあたり

親うめさん（五九）は突然

意船で小樽に、たゞ札幌

車では指定の日まで、そこで

奉公袋に納めた虎の子百圓

をなげ出して空の應召を決

めにスビード

應召のレコードを作つた

岐阜 市早田松原利

羽田（卅一）が應召にあたり

親うめさん（五九）は突然

意船で小樽に、たゞ札幌

車では指定の日まで、そこで

奉公袋に納めた虎の子百圓

をなげ出して空の應召を決

めにスビード

應召のレコードを作つた

岐阜 市早田松原利

羽田（卅一）が應召にあたり

親うめさん（五九）は突然

意船で小樽に、たゞ札幌

車では指定の日まで、そこで

奉公袋に納めた虎の子百圓

をなげ出して空の應召を決

めにスビード

應召のレコードを作つた

岐阜 市早田松原利

羽田（卅一）が應召にあたり

親うめさん（五九）は突然

意船で小樽に、たゞ札幌

車では指定の日まで、そこで

奉公袋に納めた虎の子百圓

をなげ出して空の應召を決

めにスビード

應召のレコードを作つた

岐阜 市早田松原利

羽田（卅一）が應召にあたり

親うめさん（五九）は突然

意船で小樽に、たゞ札幌

車では指定の日まで、そこで

奉公袋に納めた虎の子百圓

をなげ出して空の應召を決

めにスビード

應召のレコードを作つた

岐阜 市早田松原利

羽田（卅一）が應召にあたり

親うめさん（五九）は突然

意船で小樽に、たゞ札幌

車では指定の日まで、そこで

奉公袋に納めた虎の子百圓

をなげ出して空の應召を決

めにスビード

應召のレコードを作つた

岐阜 市早田松原利

羽田（卅一）が應召にあたり

親うめさん（五九）は突然

意船で小樽に、たゞ札幌

車では指定の日まで、そこで

奉公袋に納めた虎の子百圓

をなげ出して空の應召を決

めにスビード



ヒュースケンはお花のいふ
ことを聞いてうなづき、何
やら周蔵に申すと、
高「ハイ承知しました、お
花さんかたみにこれをお
前にさんにやるそうだ」
出したは「ビストル、お花は
それを手にして見てゐたが
花「この遺品はお貴ひ申し
て置きませう、且冊、こ
の鉄砲でお前さんを殺し
た人を射殺して恨みを晴
らしますよ、何うぞ迷は
ずに高木とやらに行つて
くださいまし」
ヒュースケンはやつれ顎
にニッコリと笑を含みまし
た、その内に次第々々に呼
吸も通り手足には痙攣を
起す、付き添ひの米國醫師
は呼吸をばかり周蔵に臨終
だといふことを傳へた、お
花はこれを聞いて

悟道軒圖玉